

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公開番号】特開2002-244010(P2002-244010A)

【公開日】平成14年8月28日(2002.8.28)

【出願番号】特願2001-45381(P2001-45381)

【国際特許分類】

G 02 B 7/02 (2006.01)

G 03 B 5/00 (2006.01)

【F I】

G 02 B 7/02 C

G 03 B 5/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月26日(2008.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】プレ補正装置及び光学機器

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ベース部材と、前記ベース部材に対して移動し、プレを補正するプレ補正光学系と、前記ベース部材と前記プレ補正光学系とが接触する部分にあって、前記プレ補正光学系を支持し、前記ベース部材に対する前記プレ補正光学系の光軸の傾きを調整可能な支持調整手段と、を有するプレ補正装置。

【請求項2】

請求項1に記載のプレ補正装置において、前記支持調整手段は、前記ベース部材に設けられた第1の支持部材と、前記プレ補正光学系と一緒に設けられ、前記第1の支持部材と接触する第2の支持部材と、を有することを特徴とするプレ補正装置。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載のプレ補正装置において、前記支持調整手段は、前記ベース部材と前記プレ補正光学系との間隔を変更できること、を特徴とするプレ補正装置。

【請求項4】

請求項1から請求項3までのいずれか1項に記載のプレ補正装置において、前記支持調整手段は、前記第1の支持部材及び／又は前記第2の支持部材の形状を変更できること、を特徴とするプレ補正装置。

【請求項5】

請求項1から請求項4までのいずれか1項に記載のプレ補正装置において、前記支持調整手段は、前記ベース部材と前記第1の支持部材との間、及び／又は、前記プレ補正光学系と前記第2の支持部材との間に、間隔調整部材を挿入できること、を特徴とするプレ補正装置。

【請求項6】

請求項 1 から請求項 5 までのいずれか 1 項に記載のプレ補正装置において、ねじ部を有し、前記ねじ部によって、前記第 1 の支持部材と前記第 2 の支持部材との接触位置を変更できるねじ部材を備えること、を特徴とするプレ補正装置。

【請求項 7】

請求項 1 から請求項 5 までのいずれか 1 項に記載のプレ補正装置において、前記第 1 の支持部材及び / 又は前記第 2 の支持部材は、ねじ部を有し、前記ねじ部によって、前記第 1 の支持部材と前記第 2 の支持部材との接触位置を変更できること、を特徴とするプレ補正装置。

【請求項 8】

請求項 1 から請求項 7 までのいずれか 1 項に記載のプレ補正装置において、前記プレ補正光学系は、前記支持調整手段において前記ベース部材に接触する方向に付勢されていること、を特徴とするプレ補正装置。

【請求項 9】

請求項 2 から請求項 8 までのいずれか 1 項に記載のプレ補正装置において、
前記支持調整手段は、前記プレ補正光学系の回りに複数備えられていることを特徴とする
プレ補正装置。

【請求項 10】

請求項 1 から請求項 9 までのいずれか 1 項に記載のプレ補正装置を含むことを特徴とする光学機器。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

請求項 8 の発明は、請求項 1 から請求項 7 までのいずれか 1 項に記載のプレ補正装置において、前記プレ補正光学系 (3, 6) は、前記支持調整手段において前記ベース部材 (7) に接触する方向に付勢されていることを特徴とするプレ補正装置である。

請求項 9 の発明は、請求項 2 から請求項 8 までのいずれか 1 項に記載のプレ補正装置において、前記支持調整手段は、前記プレ補正光学系の回りに複数備えられていることを特徴とするプレ補正装置である。

請求項 10 の発明は、請求項 1 から請求項 9 までのいずれか 1 項に記載のプレ補正装置を含むことを特徴とする光学機器である。